授業改善推進プラン

担当教科（　音　楽　）　学年（　1　学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

授業アンケートのどの項目も９割程度の生徒が肯定的な回答をしていることから、音楽の授業を一生懸命取り組み、学びを深めようとしている生徒が多いことがわかる。

質問６（「自分の考えを書いたり、発表する機会が与えられたりしている」）、質問７（「授業の最後に学習内容を振り返る場面がある」）については、他の質問と比較して「当てはまる」と回答した人数が少なかったため、改善をする必要がある。

授業等の課題分析

授業アンケートの回答のとおり、多くの生徒が積極的に授業に参加し、流れを理解して取り組むことができている。一方で、意見や考えを発表する場面では、発表する生徒が限られていることが多く、課題である。また、単元の振り返りでタブレットを活用しているが、定着ができておらず、提出できていない生徒も数名いる。

目指す授業

〇音楽を身近に感じ、多種多様な音楽に触れ、音楽体験を通して生徒の音楽の世界を豊かにする授業。
〇音楽的な表現技術を習得・向上させ、生徒同士が高め合う授業。

授業改善のための具体的な方策

〇どの単元でも、１時間の授業の流れ（ねらいの提示→授業の流れ→活動→振り返り）を崩さないことで、生徒が目標を把握し、それに対しての振り返りをする時間を確保する。また、本時のねらいと振り返りの項目に整合性をもたせ、生徒が本時の目標とそれに対しての成果や課題を把握できるように工夫する。
〇ペアやグループの学習を積極的に取り入れ、生徒同士が学び合う場面を設定することで、全ての生徒が自分の考えを発言し、前向きに取り組めるようにする。
〇実技的な個別指導をより丁寧に行うことで、個に合った学習をし、自信をもって授業に取り組むことができるようにする。

授業改善推進プラン

担当教科（　音　楽　）　学年（　２　学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

授業アンケートの質問３（「他者の考えや思いを取り入れ、自分の考えを広げ深めることができている」）に「どちらかといえば当てはまらない」と回答した生徒が２０％弱、質問７（「授業の最後に学習内容を振り返る場面がある」）に否定的な回答をした生徒が３０％見られた。その他の質問事項については、すべて９０％以上の生徒が肯定的に回答しているため、その２点については課題である。え

授業等の課題分析

授業内のルールを理解し、落ち着いて授業を受けることができている一方、興味・関心をもって積極的に授業に取り組んでいる生徒と、受け身で指示をされないと取り組むことが難しい生徒の差が大きく感じられる。そのため、意見交換や話し合いでは、音楽的な知識が多く、自信のある生徒の意見がグループの意見として採用されてしまうこともあり、他の意見を聞いて自分の意見を広げるところまで深められていないことが課題である。また、今年度より単元の振り返りにタブレットＰＣを活用しているが、提出率が低いことも課題である。

目指す授業

〇音楽を身近に感じ、多種多様な音楽に触れ、音楽体験を通して生徒の音楽の世界を豊かにする授業。
〇音楽的な表現技術を習得・向上させ、生徒同士が高め合う授業。

授業改善のための具体的な方策

〇どの単元でも、１時間の授業の流れ（ねらいの提示→授業の流れ→活動→振り返り）を崩さないことで、生徒が目標を把握し、それに対しての振り返りをする時間を確保する。また、本時のねらいと振り返りの項目に整合性をもたせ、生徒が本時の目標とそれに対しての成果や課題を把握できるように工夫する。
〇常時活動の充実を図り、音楽的な知識や経験を増やすことで、生徒一人一人の自信を深め、積極的な姿勢を育成する。
〇「自分の意見」→話し合い→「他の意見を聞いた後の自分の考え」の変化が感じられるようにワークシートの構成を工夫する。
〇授業の流れとポイントをより明確にすることで「わかった」「できた」とより多くの生徒が感じられる授業を構築することで学ぶ楽しさにつながる授業を目指す。

授業改善推進プラン

担当教科（　音　楽　）　学年（　3　学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

授業アンケートでは、どの項目も８０％前後の生徒が肯定的な回答をしているが、「当てはまる」が２～３割に対し、「どちらかというと当てはまる」が６割程度を占めている。否定的な回答で目立っているのは、「授業の最後に学習内容を振り返る場面がある」に対して３０％程度（６名）の生徒が否定的に回答していた。

授業等の課題分析

昨年度に比べ、落ち着いて授業に参加できるようになった一方、話し合い活動や協同的な学びの場面での積極性に課題が感じられる。また、忘れ物やノート整理、タブレットでの課題提出など、基本的な授業の準備・流れが定着していない生徒がみられるため、指導の強化が必要だと考える。

気持ちのムラがある生徒が多いのも特徴で、学習の達成度にも影響が見られる。

目指す授業

〇音楽を身近に感じ、多種多様な音楽に触れ、音楽体験を通して生徒の音楽の世界を豊かにする授業。
〇音楽的な表現技術を習得・向上させ、生徒同士が高め合う授業。

授業改善のための具体的な方策

〇どの単元でも、１時間の授業の流れを明確にし、本時のねらいと振り返りの項目に整合性をもたせることで、生徒が目標とそれに対しての成果や課題を把握できるように工夫する。
〇ペアやグループでの協働学習の場面では、手順を細かく示すことで、生徒全員が発言し、自分の考えをもつことができるように指導する。
〇常時活動の充実を図り、音楽的な知識や経験を増やすことで、生徒一人一人の自信を深め、積極的な姿勢を育成する。
〇授業の流れとポイントをより明確にすることで「わかった」「できた」とより多くの生徒が感じられる授業を構築することで学ぶ楽しさにつながる授業を目指す。